令和6年度 第4回富山支部評議会の概要報告(速報)

開催	日	令和7年3月10日(月)16:30~17:30
会	場	全国健康保険協会富山支部 (ボルファートとやま6階)
議	題	

- (1) 令和7年度都道府県単位保険料率について
- (2) 令和7年度事業計画・保険者機能強化予算について
- (3) 令和5年度富山支部医療費・健診分析結果について
- (4) 健診体系の見直しについて

出席者

評議員

学識経験者:森口評議員(議長)、島崎評議員

事業主代表:平野評議員、深松評議員、髙野評議員 被保険者代表:河口評議員、三浦評議員、荒木評議員

報告概要

(主な意見等)

事務局より各議題について資料により説明。委員の主な意見等は以下のとおり。

議題1. 令和7年度都道府県単位保険料率について

資料1 令和7年度都道府県単位保険料率について

(学識経験者)

保険料率の 0.03%に引き上げについては、一般的な被保険者単体で換算すると、1月当たり 100 円 前後のため、許容できる範囲だと思われる。

(事務局)

補足になるが、保険料率の広報について、北日本新聞などの新聞広告のほか、各商工会議所等関係 団体にチラシ配布や会報誌に掲載していただくなど保険料率広報依頼を行っているところである。

(学識経験者)

今後の支出を抑えるためにも、医療費適正化や健診受診による大病の早期発見・治療を推進することが大切だと思われる。

議題2. 令和7年度事業計画・保険者機能強化予算について

資料 2 令和 7 年度事業計画・保険者機能強化予算について

特段の意見なし

議題3. 令和5年度富山支部医療費・健診分析結果について

資料3 令和5年度富山支部医療費・健診分析結果について

(被保険者代表)

健診結果から血糖値やHbA1cが高い人が富山支部加入者に多いため対策が必要だと思われる。

また、ジェネリック医薬品使用割合向上について、今までは保険証に貼付するジェネリック医薬品 希望シールがあったがマイナ保険証になった今、それに代わる切り替えの意思表示ができるツールが ない。マイナ保険証用に新たなツールがあればよいと思う。

(事務局)

市町村別で見ると朝日町は一人当たり医療費が低いが、何か要因等考えられるものはあるか。

(事業主代表)

朝日町は高齢者を中心に100歳体操という健康づくり活動を町内ごとに週一回実施している。また、町の施設にはリハビリ器具が設置されており高齢者が利用していたりする。

高齢の方でも現役で畑仕事に出られる方も多いなど健康的な人が多く、高齢者の医療費抑制につながっていると考えられる。

(学識経験者)

健診時の質問票は毎年取得しているのか。

(事務局)

受診者の健診結果及び質問票は毎年協会けんぽで取得し集計している。質問票集計では富山における運動習慣の定着割合が低くなっているが、日中の仕事で身体を動かしている人がいたり、県民性から真面目に回答する人も多いことなども考えられ、一概に運動不足と言い切れないところもある。

議題4. 健診体系の見直しについて

資料4 健診体系の見直しについて

(事業主代表)

令和8年度からの人間ドックの補助額最大25,000円はありがたいことだが、この費用はどこから 賄われるのか。実施した場合かなりの支出になると思われる。

(事務局)

今後の保険料収入で賄う。今度当面発生する収支プラス分を活用するもので、全国一律で実施する。

(学識経験者)

収支差について、現状の平均保険料率だと近い将来マイナスになるとのことだが、本事業を実施することによって収支マイナスに到達する時期が予想より早くなるのではないか。取り組み自体はいいことではあるが、国からの補助がないのであれば準備金等切り崩しながら運用しないと実施は厳しいのではないか。

(事務局)

準備金は単年度収支差のマイナス補填にのみ活用するものであり、本事業にあてることはない。支 出増により収支差に影響がないとは言えないが、長期的にみると健診受診をきっかけとした健康づく りサイクルの定着が期待でき、将来の医療費抑制につながると考える。

(事業主代表)

人間ドックの補助は日帰りと1泊健診の両方対象なのか。

(事務局)

種類は問わない。

(事業主代表)

人間ドックの中でも脳ドック等オプションがあるが、それは対象となるのか。

(事務局)

資料にて示している検査項目が人間ドックの対象となる。

以上

特記事項

•次回 令和7年7月開催予定